

か
し
の
き

All About Japanese Incense

kariroku

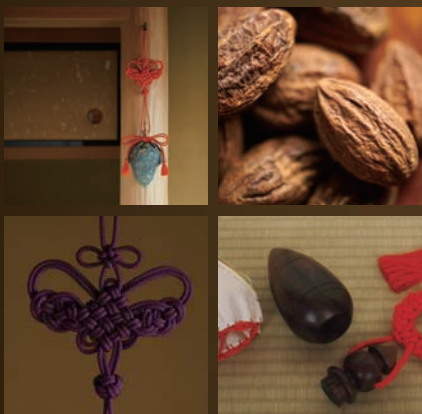
incense ornaments

If you are thinking of acquiring traditional Japanese ornaments, this kariroku sachet is one of the best choices. Kariroku is originally the name of a plant native to India also known as myrobalan and, as time went by, also became known as the name of the ornament. Since it first arrived in Japan between the 7th and 8th century, its fruit has been cherished as a medicine and used to hang as an amulet for warding off evil spirits. Later, people began to make bags in the shape of the kariroku fruit in order to hold the fruit or different kinds of incense. Our kariroku sachet is all hand-made and hand-knotted using silk fabric and drawstrings and contains incense and a piece of the fruit itself. You may decorate your room with this ornament on special occasions.

「訶梨勒」 桐箱入り ¥27,000 税込価格 香 15g 入
訶梨勒の実 1 個入 サイズ 袋 11×12 全長 38cm
備考：紐は朱と紫をご用意。メイン写真、結び名は上から几帳結び、蝶結び、玉結び。裂は珠光緞子（じゅこうどんす）室町時代に活躍し「わび茶の祖」と言われる村田珠光が愛用していたと伝わる裂をうつしたものです。裂は随時更新予定。詳細は香雅堂オンラインストアをご覧ください。



約千五百年前に仏教と共に伝来した種々の香原料は、薬としても珍重されてきました。インド原産シクンシ科の植物である訶梨勒（ミロバラン）もその頃（二説にはカリロク）鑑真によってもたらされたといわれ、正倉院の献納物を記した『種々薬帳』にもその名が見られます。実（写真右上）には薬効があるとされ、邪気払いとして用いられるようにもなります。初期には実を数珠つなぎにした形だったようです。後に、黒檀などで訶梨勒の実形の入れ物を作り、中に本物の訶梨勒の実を入れて、同じく実の形をした白綾などで仕立てた袋に納め、美しい花結びで飾るようになりました。（写真右下）袋に入れる実の数は十二月月に因んで十二個（閏年は十三個とも）。モチーフになった植物と共に、その袋自体も「訶梨勒」と呼ばれています。室町時代には床飾りとして使用されるようになり、足利義政が好んだといわれる形も伝世。香席や茶席で訶梨勒が飾られることもあります。現在では香袋としての使用が一般的で、今回ご紹介する訶梨勒は古来より珍重されてきた香に加え、訶梨勒の実もひとつ中に納めています。裂、紐すべて正絹を用い、作家さんの手縫い手結びで一日以上かけ丁寧につくっていただいています。訶梨勒の花結びには色々なモチーフが使われますが、今回採用した蝶は変化と喜び、また復活などの象徴と言われます。香雅堂で三十年以上お教室を続けられている花結び作家の田中寿子先生によれば、「訶梨勒の花結びでは、身近な生命力の象徴を主にモチーフにします」とのこと。床飾りとしては勿論、絵をかけるように壁に掛けるのもお勧めです。今年一年の健康を願いつつ、伝統的な飾りと香りで室内を彩ってみてはいかがでしょうか。



かおりのある風景



器 酸化銅釉栗形香合 呉須灰釉花器 ジュヌヴィエーヴ
香 黒方『四辻家薰物語』より 香雅堂 花 藪椿 車輪梅
在日フランス人陶芸家ジュヌヴィエーヴナヴァールさんは、毎回母子陶器市に出品されています。

今後のイベント



香道の入口をのぞく - 体験香席 -

室町時代から続く三大芸道の一つ・香道を体験いただけるイベントです。香道や香木の歴史等をわかりやすく説明したのち、季節に合った組香をいたします。香道が全く初めての方が対象です。

とき 2015/2/28 (土) 10:10-12:00

2015/3/28 (土) 10:10-12:00

定員 各回 12 名程度

ところ 香雅堂 2F (麻布十番)

参加費 3,000 円 (税込)

ご予約 香雅堂 ウェブサイトへ



練香つくり体験 - 平安貴族の調合法 -

平安貴族が着物や髪の毛、手紙などに焚きしめるのに使用していた練香。古より伝わる調合法をもとに、天然香原料をブレンドして練香をつくり、お持ち帰りいただけるワークショップを結城紬の里で開催します。ご自宅で楽しむ方法もお伝えします。

とき 2015/2/22 (日) 13:30-15:30

定員 15 名程度

ところ 結城澤屋 (茨城県結城市)

参加費 4,000 円 (税込) 練香、灰、炭、資料付

ご予約 結城澤屋へお電話 0296-33-7047

もしくはメール info@sawaya.com (1/22より受付開始)

※念のためエプロンをお持ちいただく、汚れてもいい格好でお越しください。

レポート



練香つくり体験 炉開きに向けて

小堀遠州流松籟会青年部様よりご依頼を受け、練香つくり体験を開催させていただきました。作成したのは古より残された練香の方 (=調合) のひとつ、『四辻家薫物書』の黒方。「四季通用。祝言之時毛用ル也。」と記載がある格の高い方です。沈として、伽羅の挽き粉も使用。たきもの薫物話が尽きず、楽しい時でした。お茶席に漂う自作の香り、きっと特別なものと思います。



老舗旅館に和の香りのアメニティ

日光東照宮そば、創業100余年、リニューアル10周年の「日光 星の宿」さんのご宿泊者向けアメニティとして「特製衣装香」を製作致しました。多国籍・老若男女の御客様にお喜び頂けるよう白檀を中心としたマイルドな香りをオリジナルでブレンド。パッケージには庭園で育つ四季の草花を採用。歴史ある名湯で身も心もほぐされた後は、天然の柔かな香りがほのかに移った浴衣をお召しになり、リラックスしてお過ごしください。

ABOUT US

和の香りをもっと身近に感じていただけるように、繊細で奥深い日本独自の香りの文化を広く知っていただけるように—そんな想いから、香の伝統に新しい感覚と視点でアプローチするニュースレター「かおりの友」を発行していきます。

We are happy to announce our fourth edition of "Kaori-no-tomo", Kogado's newsletter introducing Japanese traditional incense culture from a contemporary perspective. It will be published a couple of times a year in Japanese with summarized English translations included. If you have any inquiries or requests feel free to contact mail@kogado.co.jp.



麻布 香雅堂は、京都の老舗薫香原料輸入卸元「山田松香木店」の七代目次男が、1983年に独立し麻布十番に構えた店舗です。

1F

日本三大芸道のひとつである香道や、飛鳥時代より親しまれている和の香りに関する商品を幅広くご紹介しています。

〈取扱商品〉 香木、香道具、工芸品、線香、香袋等



2F

和室では香道・茶道などの定期的なお稽古や、お香を中心として広く「和」にまつわるイベントを実施しています。ご要望に応じて個別開催も承りますのでお気軽にお問い合わせください。

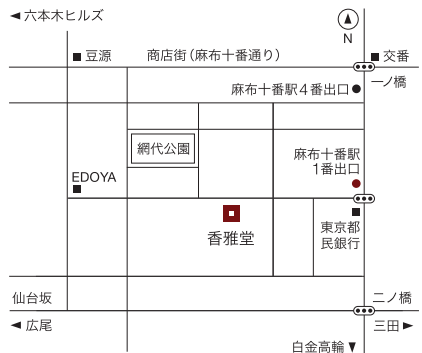
その他最新情報はウェブサイトをご確認ください。
Visit our website for latest information.

香
麻布 香雅堂

KOGADO Co., Ltd. www.kogado.co.jp

TEL 03-3452-0351 FAX 03-3452-0661

3-3-5 Azabu-juban, Minato-ku, Tokyo 106-0045, Japan
open 10:00-19:00 closed on Sundays & national holidays



東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線「麻布十番駅」
1番出口より徒歩1分
one minute walk from Azabu-juban Station Exit 1
(Namboku or Oedo Line)